

# 米倉教公の週間為替市場見通し

10/31 日週号

ドル/円予想レンジ 103.50 - 107.50 円

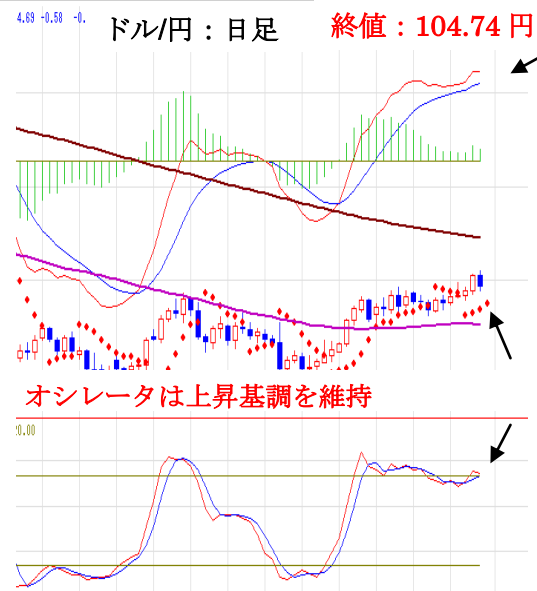
## 『重要イベント多く波乱含みに注意が必要！』

### ■前週の市場動向：今週のドル/円は底堅い展開で推移した

今週のドル/円の週足では、上ヒゲ陽線引けとなった。週足ではダブルボトムネックラインとなる 104.32 円が意識される。週開けは米 10 月マークイット製造業 PMI が市場予想を上回ったことで、米長期金利が上昇するにつれて 104 円台前半に上昇した。25 日は、仲値に向けてドル買いが強まったほか、米長期金利上昇も下支えし、104 円台後半まで値を上げた。ただ、米 10 月消費者信頼感指数が弱い結果となったことで、26 日早朝には、一時 104.02 円まで下落した。下値が堅くドルは NY 株高につれ反発した。27 日は、米長期金利が上昇したことを受け、105.30 円台まで買い上げられた。週末 28 日は、米 7-9 月期 GDP が強い結果となったことで、105 円台半ばまで上昇したが、FBI がクリントン氏のメール問題の再捜査開始との報道で、株価が一転下落し、リスク回避の円高となり一時 104.44 円まで下落した。

### ■今週の注目点：重要イベント多く波乱含みの週

今週の注目点では、週末に報じられた米大統領候補のクリントン民主党候補に対する私的メール問題の FBI による再捜査だ。8 日に選挙が迫るなか、クリントン氏の立場が悪化すると、米国の株安、リスク回避の円高という波乱のリスクが高まる。週明けの動向には注意が必要だ。主要産油国の原油生産の割り当て協議では、イランとイラクが増産凍結を拒否との報道もあり、週明けからの原油価格の動向が気になるところだ。10 月 31-11 月 1 日には、日銀の金融政策決定会合が開催される。すでに現状維持は織り込まれているものの、結果発表や総裁会見にかけては、短期的な円高や株安の仕掛けが注視される。一方 FOMC については 12 月利上げがほぼ織り込まれるなかで声明文に注目が集まる。また、米財務長官や米 FRB メンバーによる講演が相次ぐため、最近のドル高に間接懸念が見られたり、来年以降の利上げペースに慎重発言があると調整的なドル安を招く可能性がある。週末には米 10 月雇用統計が発表されるが、回復期待が根強くドル安を抑制する可能性がある。他にも重要イベント目白押しとなり、市場が乱高下しやすいので注意。



### ★今週の気になる出来事

大統領選を目前に控え、前触れもなく FBI は何故今クリントン氏のメール問題の再捜査について週末の午後にかけて報道したのだろうか？大統領選後では、世間からの FBI に対する信頼が薄れると思ったからだろうか？それとも何か意図があるのか？米国の最低と最悪の大統領選に、さらに不透明感が加わった。しかし、この報道を受けても NY ダウが暴落的な動きにならなかったのも不思議だ。それほど市場に影響を与えないだろうとの判断かもしれない。週明けの支持率の行方が気になるところだ。

### ■テクニカル的な見解：4 週連続陽線引けとなるかが注目！

10 月 25 日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の +36,991 から +44,595 へと円の買い持ち高は前週から拡大した。パラボリック (パラメータ : 0.08, 0.3) では、26 日からの買転を継続、週明け 103.77 円まで下落なら売転に。MACD (パラメータ : 12, 26, 9) では、ゴールデン・クロス維持しながらもかい離は僅かに縮小。ストキャスティクス・スロー (パラメータ : 14, 3, 3, 20, 80) では、%K と %D は買われ過ぎ域から %K と %D が横ばいに。今年に入ってから常に 75 日線が上値抵抗ラインとなっていた、一旦上抜けしたことから 75 日線が下値支持ラインになるかが焦点だ。75 日線は 102.66 円に位置している。週末にドルが失速したことで、週明けウェリントン市場に注意が必要となる。今週は雲の上限の 103.50 円から 7 月高値 107.50 円を想定する。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。